

本学では、令和6年度より、ラットを用いた動物実験を実施している。その内容は、動物の飼育はせず、実験室に搬入された当日に麻酔処理により採血を行い、血球を採取して実験に用いている。動物は全身麻酔の状態ですぐに殺処分を行い、冷却保存し、処理業者に委託して処分している。1年あたり10匹以内の動物実験量となっている。但し、万一を考慮し、動物実験室には逃亡防止柵を設置している。 2025.8.18